

第 24 期 日本学術会議 総合工学委員会 未来社会と応用物理分科会
第 4 回分科会議事録

1. 日時 2019 年 8 月 22 日 (木) 14:00~16:00

2. 場所 日本学術会議 6 階 6C-(1)会議室

3. 出席者 (敬称略)

松尾(委員長), 中野(副委員長), 為近(幹事), 渡辺, 荒川, 一村, 金田, 河田, 桑野, 澤木, 財満, 瀬山, 玉田(Skype), 納富, 波多野(Skype), 平尾, 平岡, 藤原, 堀, 三間, 百瀬

4. 資料

資料 1 前回議事録 (公開版)

資料 2-1 2019. 3. 9 シンポジウムフライヤ

資料 2-2 応用物理学会誌シンポジウム報告記事 (88 巻 5 号 306-309 頁)

資料 2-3 シンポジウム講演・パネルディスカッション記録

資料 3 提言 WG 報告, 提言内容について

参考資料 1 前回議事録 (詳細版)

参考資料 2 2019. 8. 7 提言 WG 討論メモ

参考資料 3 科学と社会委員会 政府・産業界連携分科会提言

当日配布資料 シンポジウム「産学共創が生みだすベンチャー・インキュベーション」フライヤ

5. 議事概要

冒頭, 委員長より, 旅費の制約で今年度集まれるのは今回だけになりそうであることが述べられた。

1. 前回議事録確認

為近幹事が, 前回議事録 (資料 1, 既に承認済み) を, その後の経緯も含めて簡単にレビューした。誤植の指摘が委員からあり, ホームページ版で修正する。

2. 特別シンポジウムの報告

資料 2-1 に基づいて, 松尾委員長から, 応物春季大会会期中, 3/9 土 9:50-12:20 に行われた, 本分科会主催の特別シンポジウムについて報告された。同日午後には, 同じ会場で, 内容の関連する応物産学共同研究会のシンポジウムが開催されたことも合わせて報告された。本分科会シンポジウムは, 応物学会誌 5 月号の記事になった (資料 2-2)。

続いて, 平尾委員および百瀬委員から, 資料 2-3 に基づいて, 講演およびパネルディスカッションの内容についての報告が行われた。

3. 提言 WG からの報告

資料 3 に基づいて, 為近幹事より, 提言 WG 活動報告が行われた。メンバーは, 百瀬, 藤原, 納富, 瀬山, 根本, の各委員と幹事団 (松尾, 中野, 伊藤, 為近) である。直近では 2019. 8. 7 に開催し, 分科会提言内容の骨子を議論した。参考資料 3 の「ビジョン牽引型ビジネスの推進, 学術と結びついた産業界の復興」提言を受けた形になる。ビジョンを作ることでできる人材を応用物理から輩出する。ベンチャー人材育成と環境整備が課題。章立てと各章執筆者の割り当てを行った結果についても報告された。

以上の説明に対して, 分科会委員より多面的な意見が出された。追加の意見, 文言について, 8 月末まで幹事団にメールを頂くこととした。

4. 今後の活動について

本日の意見および 8 月末までの幹事団へのメール意見をもとに提言をまとめていき, 次年度にシンポジウムを開催すべく準備する。日程, プログラムについては幹事団で案を策定する。

次回委員会は、来年度 5-7 月ごろ開催予定の本分科会シンポジウムに合わせて行う予定.

以上（中野 記）